風地蔵新聞

第１８５号
題字　岩瀬桃谷
発行　編集
風地蔵
白石　美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町８５
ご感想・エッセー・俳句・短歌などおお待ちします

こだわり

大橋　美紀

風地蔵には、こだわりのメニューがたくさんあります。夏の風物詩の「しろくま」九州の名物であります、オーナーが熊本のしろくまを食べ歩いて、一番美味しかった、今は無い「岩田屋伊勢丹」のレストランのチーフに作り方を伝授してもらい、伝統の味を引き継ぎ、今では風地蔵の無くてはならない、そして毎年遠方から食べにいらっしゃるお客様も見えますメニューとなっています。

次は「ぜんざい」とても美味しいぜんざいを出している店が京都にあると、京都で長年タクシーの運転手をしていたしょうぎのおぢさんに聞き京都まで食べに行きしっかり舌で感じ取り、風地蔵で試行錯誤してできた。手作り丸もちを入れたぜんざい。４月に入ると風地蔵の庭の一部に作った畑できゅうりを育て、朝収穫した新鮮な、きゅうりで作る「サンドウィッチ」このサンドウィッチも、何度も何度も試作し、ふわふわオムレツや、ソースにもこだわり、やっと３年前にデビューしたメニューの一つです。少し肌寒くなる季節になると、今よくでるのが「具雑煮」です。始まりは、島原の乱の指揮とした天草四郎が栄養を考え、生み出した物だそうです。長崎の島原の郷土料理なのです。風地蔵では、だしにこだわった九州のお醤油を使って一人鍋に大根に里芋、人参白菜に、ごぼう、キノコとたっぷりの野菜が入りそこに丸もちが５個入っています。なんと一つは、あんこ入りです。どれもこれもこだわりから誕生してこだわりを持ってお出ししています。

そして、昨年１１月に新メニューとして登場したのが「レア・チーズケーキ」です。毎月３回ある風地蔵の会議の中で、もうそろそろ新メニューを出そうがテーマでした。風地蔵のオリジナルコーヒーや紅茶好きの方に喜ばれている１７種類ある紅茶に合う物と考え、レア・チーズケーキは。と提案が出た。使うクリームチーズは、何がいいのか？砂糖は何を使うのか？生クリームはと課題はいっぱいです。皆さんに喜んでいただける物をと誕生したのでのが、脂肪分や糖質を抑えた「レア・チーズケーキ」です。いよいよ、お客様にお出しできる初日スタートです。テーブルに新メニューのポップを置き、そしてお客様には、メニューを説明し、おすすめしていきました。しかし、なかなか注文にはつながりませんでした、が、３日、４日というときには、一つ、二つと注文が入るようになりネットを見て、レア・チーズケーキを食べに来ましたと来店してくださる方も。そして、ご近所の女性の方もいらっしゃる度、チーズケーキを注文し「本当。おいしい」と言って下さっています。

他にも、こだわりで誕生したメニューがまだまだあります。癒やされる風邪地蔵の空間で是非こだわりのメニューを食べてみて下さい。

あまでうす

『むすび』

平成二十八年、岐阜県飛騨地方では、地域巡礼の地として話題になった映画を、≪君の名は。≫を、封切りから遅れること十カ月後。予備知識をふまえて観た……やはり一回観ただけでは、物語すべてを理解するのは難しかった。と言うのも、ネットの三年という時間軸で花瀧になった宮水三葉との入れ替わりがあった。

そこで二度観ることになるとほどそうすると、なるほどたのかと、やっぱりそういうことだったと理解するに至った。

この三葉の物語の要となる（一葉）のおばあちゃんの台詞に、

「土地の氏神様を古くから呼ばれ言葉で、むすびっぽい言葉には深い意味があるこの言葉の力や」

ぜんぶ神様のなかだ。

瀧が腕につけている組紐、三葉が髪につけている組紐は、時空を越えた〝結び〟でもある。そして、〝瀧〟と三葉が入れ替わった時の片方というか、〝片割れ〟と表現されている。

〝瀧〟と三葉が入れ替わった時〝誰そ彼〟（たそがれ）〝彼時〟（かわたれどき）〝誰そ彼〟（たそがれ）〝彼時〟（かわたれどき）という言葉も出てくるが、そんな時間帯を表わしているのかもしれない。

この映画は、聖地巡礼の地として飛騨市が舞台となっている。飛騨古川駅、古川駅前ロータリー、飛騨市図書館、気多若宮合祀、宮川町落合、飛騨山王宮神社、宮停、飛騨国分寺、人気スポットとしてバス停、飛騨国分寺、人気スポットとして脚光をあびる。

糸をつなげることもむすび、人をつなげることもむすび、時間が流れることもむすび。

この映画の中には、いくつかの作画ミスがあるが、

蛇足ではあるが、

たとえば、三葉が部屋で目覚めたとき、布団の上にスマホが置いてあるのに、次のカットでは、なぜかスマホが消えている。

校庭で三人が話しているテッシーの左手にはめている時計を、時計ロンググの映像では、時計が消えている。

右開きの部屋の、ドアは、瀧の部屋の、慌てて開きにくい。

左開きにドアが出る。

瀧がクレーターに入るとき、腰まで水に浸かっているのに、膝下しか出ていない。

濡れていない。

瀧がクレーターを渡すシーンでは、封筒の宛名が逆になっている。

こんなところを見られる。

〝君の名は。〟なんて、違っていたようだ。

三葉のおばあちゃんの言った『むすび』で思い出したのが、中島みゆきが歌っている『糸』である。

〝縦の糸は私、逢うべき横の糸に出逢えること、人は仕合わせと呼びます〟

『仕合わせ』という言葉は、『し合わす』が語源だと言う。

つまりは、異なる二つが重なることを意味していると人とのめぐり合わせを含んでいるとめ、いい意味と、悪い意味、どちらでも使えるという。そんな深い意味のある歌詞でもある。

そこで己を振り返ってみると、現在までの人生での仕合せは、いいめぐり合わせと、悪いめぐり合わせが共存していた。それは小生でなくとも、おそらくほとんどの人がそうであろうと思う。（一概に断言はできないが……）

『むすび』というひとつ、世界遺産にも登録されている、岐阜県は白川郷の荻町には、約三十年ごとに地域住民が一体となって屋根を葺きかえることを『結（ゆい）』という。

今もその精神が受け継がれている。白川郷へのたこと、過去に三回訪ねたことがある。その奥にある五箇山へ行ったときには、合掌造りの民宿に泊まり、ご主人が、〝ささら〟という民族楽器を使い、民謡『こきりこ節』を歌って聴かせてくれた思い出が甦る。

今回は、これで『むすび（終わり）』としよう。

2月の出来事

佐藤　凱翔

1月の終わりから2月の初めにかけ風邪が大流行の我が家。保育園に通う2人の子。どんなに予防しても菌は付きもの。だいたい最初はあおちゃん。沢山食べるあおちゃんは、かなり体が強い。1日から2日ほどでなおってしまう。重症化しにくい。10数種類の野菜が入った離乳食のおかげかな？そんなあおちゃんから感染して行くのがらんちゃん、ばぁちゃん。らんちゃんはインフルエンザに続き嘔吐下痢。高熱、嘔吐、下痢。とてつもなくきつそう。パパが変わってあげたい。寝てるらんちゃん。菌をもらってやる！！吸ってーはいてーと毎日するがなかなか治らない。治るどころかばぁちゃんママに、感染する嘔吐下痢。

なんて強いあお菌。感染した感じのママ。移ったみたい気持ち悪いと、布団に横になり「ご飯が食べたい」のライン。ん？気持ち悪いのでは・・？と思いつつ、ご飯を持っていくとバクバク食べること。お米もおかずも2杯。あれ？まぁ気にしない気にしない。たまには甘えん坊したいんだよね？ママ？さてさてみんな治りかけの時じいちゃんも熱が。いくら熱が出ても仕事に行くじいちゃん。みんなの前では、元気にふるまうじいちゃん。そうとうきつかったはず・・・。そんなときでも頑張れるのがじいちゃん。パパも見習い、仕事仕事！実はパパも結膜炎？のような目の充血。1週間ほど下がらぬ微熱。きついなぁって思っていても大丈夫。パパには職場の先輩直伝の技がある。企業秘密だから本当は教えられないが特別に。それは、絶対嘘。と思っていたけど、今になると、毎日毎日何年も塗装していればできそうだ。無で塗ってもキレイ。そんな塗装屋を目指そう。

話は戻り、らんちゃんの話。前にも書いていたとは思うが、高熱の後は、急成長する。熱後成長。今回は言葉がはっきりになってた。が一番印象的。「かえり～！」が「おかえり～」になってたり、「パパこっち」が「パパここに来て！」になってたりする。生きていく上で重要な言葉の力。キレイな言葉を使えるらんちゃん。どんな価値観を持ち、どんな生き方をするのか楽しみ。

介護の研修

佐藤　李恩

先日研修に行かせてもらったので、書きますね。

おおまかには、前回お話しをさせて頂きました。　その中でも認知症には、周辺症状（問題行動）と呼ばれるBPSD。BPSDはとは、・せん妄・抑うつ・興奮・徘徊・睡眠障害・妄想など・・・があげられます。これを、適切なケア・接し方をする事によって防げると言う事。又、不適切なケアによってBPSDが悪化する事があります。

今では、介護をする方半数以上の方が、うつ状態という現実に置かれており、その中でどう適切なケアをしていくか。まずは「パーソン・センタード・ケア」その人の人を中心とする事。本人のこれまでの歴史やニーズ、その人らしさをケアの中心におき、内的体験をケアの原点としていこうと言うのが新しい介護です。又、家族へのケア・ねぎらいの言葉掛けをする。その中で、家族に状態報告・様子を連絡する事は重大とされる。

BPSDを起こさないようにするには、本人が心地よく生活できるケアが求められる。・不適切な態度・不適切な言葉遣い等々をしないと言う事。そのためにケアの共有は必要とされる。物理的環境、人的環境、スタッフ同士の伝達を事細かく共有する必要性がある。

まとめとして、今回は認知症基礎研修でしたが、その中でも広く学ぶ事がありました。人と人との関わりには正解はないが、適切な対応をする事は、技術や知識が必要と感じました。又、認知高齢者の数と有病率は推定で何年後かには倍に増すと言われています。そのため、介護職の高いスキルが求められる。適切な対応、ケアを会社で創り上げていきたいと思います。

また、自分の親などに介護している方達にも参考になればと思います。否定からは、何も生まれません。本人がもし、「ごはんをたべていない」と言ったら、本人からしたらそれが事実になります。そこをどう接していくか。例えば、食事が終わってもすぐに片付けない。又、食事を一気に出していた物を小分けで出していく。さらには、おにぎりを作る等です。

その中でも、コミュニケーションをとり、話題をゆっくり変えていく等がおすすめです。

まだまだ、介護を初めて三年しか経っていないので分からないことも沢山ありますが、介護の楽しさや少しでも困っている方の支えになればと思います。

川風

しらいしみほ

介護の話で盛り上がっているので、高校の時の友達を思い出しました。今すごく会いたい。名前も忘れたクラスメイト。話の内容も書き留めときたかったくらい。あー忘れてしまった。毎日休み時間になると、景子ちゃん、下の名前だけは覚えてます。西なんとか景子ちゃんに催促した。景子ちゃん～きのうのばあちゃんどやんだった？景子ちゃんはにや～っとしながら話し出すのです。昨日ばあちゃんね、タンスからパンとか、おかしとかくさったやつがい～っぱいでてきたったい！とはじまる。そのあとだ！決まって困った行動のばあちゃんのことをお嫁さんに当たる景子ちゃんのお母さんがおもしろおかしくしてくれるんです。毎日ばあちゃんの行動に家族中がユーモアで返す！かわいがる。景子ちゃんの話には愛がいっぱい。幸せになるから毎日聞きたい。私の人生で一番最悪な精神状態の高校時代。景子ちゃんと家族が、認知の進むばあちゃんをこよなく愛し、妖精か、乙女のように扱い悲惨さを明るくユーモアに替えていたことを聞くのが大好きだった唯一人間で居られた時間。しかし、名字が思い浮かばない。

西田・・違う。

西脇・・違う。

なんだ、なんだ～～

（みほ）

お便りします

大好き風地蔵！！

それには私にとって大きな意味を感じさせてくれる。朝一番に友とコーヒー店で待ち合わせて、約二時間くらい楽しい時間を語り、笑い互いの感性を交換させてもらう。ここ一年位前から大の友にさせて頂き、私を大切にしてくれる友との語らいは本当に時を忘れさせてくれた。そして、その帰り道ふと思い風地蔵に寄り、ここでも私の時を忘れさせてくれ、これ又二時間以上もたった一杯のコーヒーでごめんなさい。

（くるたびいつも）

その間2本のタバコを外庭にて（寒いのに）何かを感じていた。それは私の大好きな風地蔵での空気感に少しでも長く身を置いていたかっただけです。そして庭での木々が春を待つ様子を見せて頂き、桜の木が花を咲かせてと待ち、小さな笹が緑の色でいっぱいにして欲しい感が。又、ツルの種が、その囲りで友を増やそうという姿、入り口はここからよと藤のツルでアーチを作りのれんで示し、入り口のドアにも風よろしくお客さんを案内してくれる。

トイレは、今時見れない古風で心落ちつく感を作っている。いつもの席では、私の回りを楽しませ、落ちつかせてくれる。これもまた私の至福の今日のスタートのページである。最一ページによかったのは、高によかったのは、バレンタインのチョコレートをもらったこと。ホワイトデーには間に合わぬと思い車に戻り、お菓子とコーヒーを笑顔で受け取ってもらった感がした。

以上。私の思うがまに書かせてもらう。今日は本当に有り難う御座いました。宜しく。（養老のかずおちゃん）

大橋さんの伯母さんも1人の生活を案じられ、すてきな施設にはいれてご安心ですね。年をとって、人様に優しくされる喜びは、何よりもかえがたいことです。

（太宰府市　中野さん）

風地蔵新聞とお便り有り難うございました。白石さんご家族正月旅行楽しまれたようですね。白いご飯が本当においしかったようですが、私も食べてみたくなります

立春は、過ぎても今年は寒暖の差がはげしいようです。お体ご自愛になりお過ごし下さい。（筑紫野市　福間さん）

ちょっと文芸

つわものどもが
風地蔵
奮い勇んで
そよ風なびく
（エスパニョール・健太郎）

昔には
国生さゆりの
曲流れ
perfumeの曲
最近流れた～バレンタインの頃に～
（大ドラ）

鏡もち
ゆいのお腹に
みかんのせ
（くまひげ）

踏切で
夕焼けの時
葉がない樹
（木村　雄一郎）

おもしろうて
やがて悲しき
デイサービス
（季語ありません）

ちょっと立ち話

春ですね。フキノトウの天ぷらも食べました。花粉症ではありませんが、クシャミ連発です。。。

（庭師　奥田さん）

よくこんなに文章がかけるよね。私は、書くことが苦手なのですごいと思う。

（一ヶ月に一回来店の男性）

まとめて書いてあるので、毎回感心しながら読んでいます。

（エステのTさん）

かいと君の作文、想像せんでもそのまんまやーん！！ま、家では何もしとらんのやろうけど仕事は、完璧。そこだけやね、違うの

（李恩の会社の看護師さんTさん）

かいと君の愛情が伝わった～。あんな旦那さんがおるけん幸せやもんね

（李恩の会社の看護師さんIさん）

あれ！めじろだよね。カメラ！カメラ！

（あまでうすさん）

いつも横目で通り過ごしていて、とうとう入ってきました。タイムスリップしたような、時間に時を忘れ考え直され、スタッフの方についつい お話をしていたりなぜか気になる、そんなときをすごしました。

（カフェのお客様）

大橋さんの話は、以前その手紙をもらった時にお聴きしました。本当に大橋さんに心を許していたんだなと思いました。

凱翔君、その時の様子が手に取るようにかります。黒川で分かりました。

風映画なかなか1人でみにいかないけどいきたくなりました。

川木希林さんのドラマを思い出しますね。認知症の事、知ってるようで知らないことがいっぱいでした。

樹木希林さんのドラマを思い出しますね。認知症の事、知ってるようで知らないことがいっぱいでした。

奥田さん、毎日すると大切ですね。さどなかなかつづかこと。

これどなかなかつづかないこともあります。

あまでうすさんは、いろんな事に興味を持たれて、それを深く知ろうとされるその姿勢は学ぶことがいっぱいです。

（鎌澤）

私の母は、2月13日に誕生日を迎え72才になり、今でも8：00～16：00まで（自営）働いています。そしてもちろん家事もこなしていますが一番仲の良い友達は、今お母さんの認知症と闘っています。まだ初期で薬を服用していますが、今伝えたことがもうわからなくなったり、私が遊びに行ったときも「缶コーヒー買ってきてあげる」と言われ「私はブラックね」って伝えても、炭酸ジュースを買ってきちゃったり「お父さんが居ない」と言いだし、隣に居るのに認識できないときがあったりと、毎日がミラクルだと言っています。私の叔父も今、胃癌です。喋れる時に私は聞いたことがあります。

「お腹すいたって感じる？お腹いっぱいって感じる？」って。それはないと答えてくれました。本人の意識ももちろん大事です。家族も自分のことと受け止めて治療法を選択することが大切ですよね。

（大橋）

大橋さん、満腹感は感じられないと思います。直接噛んで食べるわけではなく、直接胃に流れるので「今からお食事です。いれていきます」などの声をかけることによって脳に認識を促すので、満腹感というのは無いと思われます。

確かに、本人の意向を尊重しつつ、家族の意見はすごく大事ですね。だからこそ、今後、胃癌などにたずさわる方々達には的確な知識を知って頂けたら良いなと思います。

（李恩）

第185号　風地蔵新聞　2019年3月3日

還暦旅行九州編

鎌澤　宣子

おはようございます。今日は黒川をあとにして、らんちゃんの七五三参りに阿蘇神社に向かいます。予定より早く出発することになったため、のし湯をたつ前におかみさんにごあいさつをして。と思いましたが、まだお見えになっていらっしゃらないということで残念でした。

又、来年も来ます。その時はゆっくりお話を聴かせて下さい。と心の中で思いながらのし湯をあとにしました。

次は、阿蘇神社に行く前に、戸無しのそば屋の和男さんにごあいさつだけ。本当は和男さんともゆっくりお話がしたかったです。

お顔を観て「来年又来ます。その時にはお話を聴かせて下さいね」と。

さぁ、いよいよ阿蘇神社です。社務所の方に、「この角をお借りして、着替えさせてもらってもいいですか？」とお聴きすると「奥にたたみの部屋があるので、そこを使ってください」「せっかくの着物がそこでは汚れてしまいますよ」と。

「ありがとうございます。」とても親切な方で嬉しかった～

阿蘇神社には申し訳ないですけど、本番の予行練習です。隆男さんが居ないので、本番は福岡、太宰府天満宮ですということなので、その時は私は居ないので、りーちゃんに着せ方を伝授します。実際に着せてみて、少し縫い上げが足らないところがあったので、社長宅に戻った今夜手直しをしないとと思います。

らんちゃんを着替えさせている間に、凱翔君もスーツにお着替えです。

そしてスーツを着て戻ってきた凱翔君をみて、社長が一言「なん！！そのネクタイ！！」「えっおかしいですか？」「店長直したって」「ハイ！！まかせて」と心の中で呟き。

これは、夜りーちゃんの着付けのおさらいと、凱翔君のネクタイの結び方の特訓をしなければ、と思いました。

着替えも終わり、いざお参り！らんちゃんはなれない草履に悪戦苦闘しながら、歩きます。みんなで本殿前で手を合わせます。カメラマンの社長があれこれ注文をつけて無事終了！

さて次は、阿蘇の豊前屋本店さんに行きます。風地蔵で仕入れているお醤油屋さんで、取引をしていても今まで一度もお伺いしたことが無く、せっかく阿蘇まで来ているので寄りたいよね。ということで行くことにしました。

その前に腹ごしらえです。地鶏を食べたい！ということで、らくだ山に行くと、お休みでその隣にもあって、そちらに入ることにして結果おいしくて、みんな大満足でした。

豊前屋本店さんに、お邪魔して大垣の風地蔵です。とごあいさつをして、お土産をお渡しします。ご主人と奥様も来て下さってお話をさせていただいて、大橋さんや、お世話になっている方達へのお土産を買いました。

とても素敵な方で、素朴で優しい人柄にふれて、来てよかったと思いました。

ここの醤油かりんとうがおいしくて、らんちゃんもお気に入りで、車に戻るとすぐに「ちょうだい」と。一袋抱えて食べてました。

豊前屋本店さんを後にして、次は乗馬体験です。最初馬の大きさにおどろいて、近づこうとしなかったらんちゃん。大丈夫かなと思っていたのですけども、手慣れた感じの係の人の誘導で泣くひまを与えずに、馬の背中にあっという間に乗っていました。途中手をふる余裕までみせてました。のったあとは、「らんちゃんの馬！！」とお気に入りになっていました。さっそうとしてかっこよかったよ。又こようね。次はあおちゃんも乗ろうね。

らんちゃんは、お着物もよく似合っていたね。どの子よりも可愛かったと、のりばーは思います。

さぁ、隆男さんのまつ福岡に戻ります。久しぶりの隆男さんとの再会！！ごあいさつもそこそこに、らんちゃんは絵本を持ってきます。そして私にべったりならんちゃんに隆男さんはすねています。社長が、りーちゃんや凱翔君にいろいろ用事を頼んで３人が動いているのに、お酒を飲んで動かない隆男さんに「G1は何もせん」「おれや。おれは今らんといっしょに絵本をみとる」おもわず「なんやそれ！」とつっこんでしまい、みんなで大爆笑でした。楽しいひとときが終わり布団に入って、明日でこの楽しい時間も終わるんだと思うとさみしくなりました。

又来年も来るぞと思い眠りにつきました。

明日は、昼過ぎの新幹線に乗り、大垣に戻ります。

新幹線に乗るまでにもハプニングがあるのがいつもの旅行です。さてどんなハプニングがあったかは、次回までのお楽しみです。

つづく

「テレビ局の取材」

「東京のテレビ局ですが。。。」といきなりの電話。
ごくたまにこんな電話はかかってくる。インタビューはされるが、
広告費がもれなく数十万円かかる。怪しい。

「古民家の特集でおくだガーデンさんの作ったお庭を取材したい」
まだ怪しい。。。「TBSで火曜日19時の番組ですが」
おお、全国ネット！え、何で？

「来週ロケに伺ってお庭の撮影と住んでいる方にインタビューしたい」
「多分ですけどきっとお断りすることになりますよ」
お施主さんに直ぐに電話してみた。

「無理無理無理無理無理無理無理」やっぱり。普通のヒトは全国ネットは抵抗ある。
残念だけどお断りした。多分こんな事は二度とないだろう。
やっぱりインターネットはすごい。何が起こるかわからない。

神戸町のこちらの庭は何かしらのパワーがある。
外国の出版社の「JAPANESE GARDEN」という本に4ページ載っている。
平等院鳳凰堂と一緒に紹介されている。唯一の自慢。

何が起こるかわからない。。。

庭師　奥田良樹